

森の川自然散歩

2019年5月号

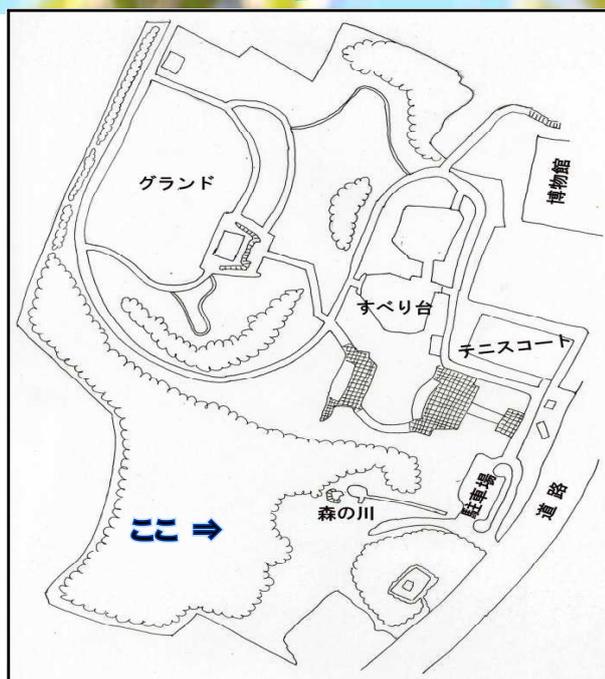


森の中からコツコツ聞こえる音は・・・

上：朝早く枯れ枝をつついてエサを探しているコゲラ。

コゲラ（メモ）▶▶▶

- 全長が15センチくらいで、メジロより少し大きくスズメくらいの大きさのキツツキです。背中が黒色に白い横班があります。日本では一番小さなキツツキになります。
- 森の中を、枝から枝へと飛びまわり、木をつついて餌を掘り出します。早朝に、ウグイスやメジロと一緒に、餌探しをすることもあります。
- 沖縄島の森では、比較的普通に見られる留鳥です。森川公園では5月から夏にかけて、ウガンヌカタの後ろの森で時々見ることができます。早朝に、石垣の後ろ側に立っていると、コツコツと枝をつつく音が聞こえるかも。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(27) 広場の、もこもこ土団子は何？

雨の後などに、公園の上の広場(グラウンド?)の周りを歩いていると、3～4cmくらいの大サイズの土団子が目につきます。とりわけ、お昼近くになると湿った土が乾燥して白くなるので、よく目立ちます。

この土団子は、実はミミズが出したものです。もっと正確に言うと、ミミズのうんちなんです。ミミズは土の中で土を食べます。土の中の栄養となるものを吸収した後は、うんちとして巣の外へ出します。でも、もともとが土だから、うんちも土そのものです。

雨の日は、土に水がしみて柔らかくなり、食べやすくなるのでしょうか?。雨の後は、特に土団子の量が多くなるような気がします。



上: 広場で見つかった土団子。乾燥して白くなっています。

森川公園5月の花ごよみ

いつのまにか広場を独り占め? ～ オオバコ ～

- 公園の上の広場や、遊歩道の脇のなどで咲いています。タンポポのように、放射状に広がった葉で、数本のすじが目立つので、すぐに見つかります。
- 3～4年前はウガンヌカタの前の広場や、森の川の水路の右側広場は、リュウキュウコスミレが咲き乱れる広場でした。今では、いつのまにかオオバコだらけになっています。上のグラウンドの広場も、シロツメクサが繁茂していましたが、いつのまにかオオバコと領地を分け合うようになっています。



上: ウガンヌカタの前広場で咲いているオオバコ。

博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう!

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

